



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社湖池屋

コード番号 2226 URL <http://koike-ya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 小池 孝

問合せ先責任者 (役職名) 経営支援本部 経理部長

(氏名) 金子 恭一

TEL 03-3979-2116

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	15,654	△3.0	354	△18.9	369	△20.5	248	△11.0
28年6月期第2四半期	16,133	3.2	436	266.5	464	215.4	278	97.0

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 136百万円 (△54.8%) 28年6月期第2四半期 301百万円 (166.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	46.50	—
28年6月期第2四半期	52.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	21,725	12,017	55.1
28年6月期	20,228	12,143	59.6

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 11,966百万円 28年6月期 12,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	47.50	47.50
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	47.50	47.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,750	4.1	630	45.7	650	32.5	430	63.0	80.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社フレンテ・インターナショナル
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	5,335,000 株	28年6月期	5,335,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	699 株	28年6月期	699 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	5,334,301 株	28年6月期2Q	5,334,470 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、個人消費は物価の先高感を背景に停滞が続き、消費に対して慎重な選別が行われる状況となりました。

このような状況の下、当社は定時株主総会においてグループ組織再編に関する議案が承認可決され、平成28年10月1日より「新生・湖池屋」としてスタートし、付加価値経営に舵を切りました。企業価値の源泉である①素材の旨さを引き出す「味」、②日本の地方素材を全国に届ける「地産全消」、③スナックの新たな価値である「現代品質」を『湖池屋品質』として磨き、創造してまいります。

また、平成28年9月2日の開示のとおり、台風10号の影響により北海道におけるポテトチップスの製造委託工場が操業を停止する事態となりましたが、12月には操業を再開いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、台風による馬鈴薯調達の影響もあり、15,654百万円(前年同期比3.0%減)となりました。利益につきましては、海外事業において馬鈴薯の作柄不良による一時的なコスト増等があり、営業利益354百万円(同18.9%減)、経常利益369百万円(同20.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円(同11.0%減)となりました。

(スナック部門)

当第2四半期連結累計期間におけるスナック部門は、新たなコンセプトの製品開発に取り組み、新ブランド「KOIKEYA PRIDE POTATO」を平成29年2月に発売することを決定し、発表会を開催いたしました。

新製品開発の一方、厳しい取引環境が続く中、引き続き既存ブランドの拡大と利益改善に取り組みました。

「カラムーチョ」「すっぱムーチョ」を総称する「ムーチョ」ブランドでは、レギュラーサイズ製品で規格改定により利益改善を図り、新たな柱としてわさびをテーマにした「わさムーチョ」を投入いたしました。タレントの志村けんを起用したキャンペーンや、小売店での店頭演出コンテストで消費者へアピールいたしました。また、北海道の製造委託工場の被災時に消費者からたくさんの応援メッセージを頂いたことを受け、操業再開時には感謝企画として売上の一部を北海道へ義援金として寄付する「カラムーチョ」を期間限定で発売いたしました。

北海道産のじゃがいもを極厚にスライスして揚げた「じゃがいも心地」は、全国発売2年目を迎えブランド強化に努めました。

コーンスナックでは、「スコーン」「ドンタコス」で新商品の投入や増量キャンペーンを行った結果、前年を上回る売上となりました。

海外事業につきましては、台湾での売上は引き続き好調であるものの、馬鈴薯の作柄不良により一時的な調達コストが発生いたしました。ベトナムでは工場建設を進め、現地採用スタッフの研修を行いました。

しかしながら、平成28年9月の台風による馬鈴薯調達の影響により、売上が抑えられることとなり、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,474百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

(タブレット部門)

当第2四半期連結累計期間におけるタブレット部門は、お口の環境のバランスサポートに貢献する「乳酸菌LS1」の通信販売を強化するため、WEB広告を中心に新規顧客数増に繋げました。

既存顧客への販促施策としましては、お口の新しい習慣の継続促進を目指し、オーラルケアグッズプレゼントキャンペーン等を実施いたしました。

しかしながら、タブレット菓子「ピンキー」の不振により、当第2四半期連結累計期間の売上高は180百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,496百万円増加し、21,725百万円となりました。主な要因は、期末日が金融機関の休日にあたることによる受取手形及び売掛金の増加(1,099百万円)及び原材料及び貯蔵品の増加(246百万円)によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,622百万円増加し、9,707百万円となりました。主な要因は、期末日が金融機関の休日にあたることによる買掛金の増加(715百万円)及び未払金の増加(764百万円)によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、12,017百万円となり、自己資本比率は55.1%となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少(85百万円)及び非支配株主持分の減少(27百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表した数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年10月1日付で、当社を存続会社とするグループ会社3社の吸収合併を実施いたしました。これにより、当社の連結子会社であった株式会社湖池屋、株式会社フレンテ・インターナショナル、株式会社アシストは消滅し、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,184,936	4,355,531
受取手形及び売掛金	4,715,259	5,815,070
有価証券	399,973	399,961
商品及び製品	521,815	545,561
仕掛品	6,061	2,660
原材料及び貯蔵品	292,276	539,021
その他	664,935	671,410
貸倒引当金	△1,627	△2,796
流動資産合計	10,783,632	12,326,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,098,271	2,107,061
機械装置及び運搬具（純額）	2,084,064	1,934,409
土地	1,551,566	1,551,566
その他（純額）	134,219	360,477
有形固定資産合計	5,868,121	5,953,514
無形固定資産		
その他	99,227	104,931
無形固定資産合計	99,227	104,931
投資その他の資産		
投資有価証券	2,624,441	2,484,118
その他	853,372	856,461
投資その他の資産合計	3,477,814	3,340,580
固定資産合計	9,445,163	9,399,025
資産合計	20,228,796	21,725,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,844,271	3,559,274
未払金	2,478,027	3,242,548
未払法人税等	47,093	133,622
役員賞与引当金	10,800	4,700
賞与引当金	102,279	102,967
その他	400,024	436,308
流動負債合計	5,882,495	7,479,421
固定負債		
年金基金脱退損失引当金	12,715	10,595
役員退職慰労引当金	343,273	343,521
退職給付に係る負債	1,704,388	1,723,061
その他	142,371	151,202
固定負債合計	2,202,748	2,228,381
負債合計	8,085,243	9,707,802

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269,591	2,269,591
資本剰余金	2,153,976	2,153,976
利益剰余金	7,842,058	7,836,728
自己株式	△1,785	△1,785
株主資本合計	12,263,840	12,258,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,261	16,707
為替換算調整勘定	△1,210	△86,652
退職給付に係る調整累計額	△234,934	△221,651
その他の包括利益累計額合計	△198,883	△291,596
非支配株主持分	78,595	50,730
純資産合計	12,143,552	12,017,643
負債純資産合計	20,228,796	21,725,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,133,277	15,654,421
売上原価	9,912,858	9,543,129
売上総利益	6,220,418	6,111,292
販売費及び一般管理費	5,783,939	5,757,183
営業利益	436,478	354,109
営業外収益		
受取利息	8,625	7,285
ロイヤルティ収入	3,539	7,470
その他	18,285	7,917
営業外収益合計	30,449	22,673
営業外費用		
持分法による投資損失	—	4,302
支払手数料	1,052	1,572
その他	1,374	1,427
営業外費用合計	2,427	7,303
経常利益	464,501	369,479
税金等調整前四半期純利益	464,501	369,479
法人税、住民税及び事業税	216,653	202,813
法人税等調整額	△58,251	△68,244
法人税等合計	158,401	134,568
四半期純利益	306,099	234,910
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27,509	△13,137
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,590	248,048

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	306,099	234,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	△20,553
為替換算調整勘定	△9,638	△86,472
退職給付に係る調整額	4,606	13,282
持分法適用会社に対する持分相当額	625	△4,754
その他の包括利益合計	△4,584	△98,498
四半期包括利益	301,515	136,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,728	155,335
非支配株主に係る四半期包括利益	22,786	△18,922

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。